

2025年6月26日

## 通貨ニュース

# タイ:6月金融政策委員会～現状維持、外部要因の見極めを継続

タイ中央銀行(BOT)は25日に金融政策委員会を開催し、政策金利を従来の1.75%に据え置いた(図表1)。現状維持は7人のメンバーのうち6人の賛成で、残りの1人は追加利下げを主張していた。なお、BOTは前回4月会合で利下げを決定していた。ブルームバーグの事前予想でも現状維持の予想が有力であった。

国内経済について声明文では、25年上半期は製造業をはじめ輸出部門が堅調で従前の予想以上の成長が見込まれると総括した。片や、先行きについては米国の通商政策や国内の政治リスク、地政学リスクなど不確実性が強まる地合いにあり、段階的に減速するとの見方を示した。具体的には、25年の成長見通しは前年比+2.3%、26年は同+1.7%とした。もともと、これらは米国が4月に表明した相互関税率(36%)と比較して、半分の数字を前提としているため、7月以降の適用関税率次第では下方修正も視野に入る状況だ。この他、外国人観光客の受入実績もやや減速していることにも言及されており、1人当たりの消費額の増勢を維持していくことの必要性も強調された。

物価動向について、直近5月消費者物価指数(CPI)は前年比▲0.57%、生鮮食品とエネルギーを除いたコアCPIは同+1.09%となった。総合・コアベースともBOTの目標レンジ(+1.0~+3.0%)を下回り、特に総合ベースは2か月連続でマイナス圏を推移している(図表2)。BOTは食品価格や原油価格の下落を要因に挙げており、地政学リスクの高まりによってエネルギー価格が再上昇する可能性は残るものの、今後インフレは目標レンジ近辺で安定的に推移するとの見方を示している。25年、26年のインフレ予想については、総合ベースが同+0.5%、+0.8%とし、コアベースでは同+1.0%、+0.9%と見込んでいる。

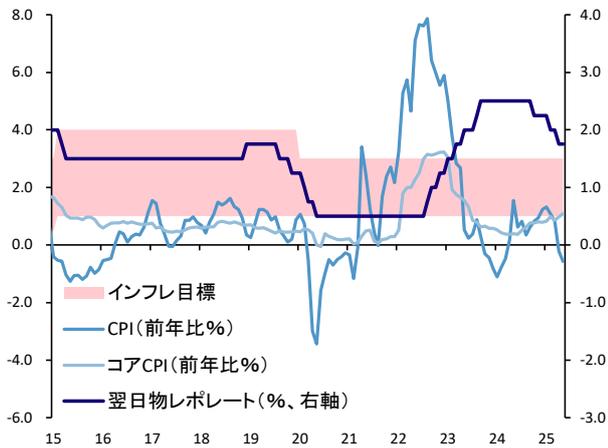
かかる中、BOTは緩和的な金融環境を維持しつつ、経済を下支えしていく姿勢を強調した。米通商政策を巡る不確実性が燦る中で、4月会合では前倒しで利下げを実施したことも今回利下げを見送った要因と考えられる。今後の金融政策については前回同様、経済や物価見通しやそのリスクを注視しつつ適切な対応を講じると述べており、今後の外部環境の変化に応じて追加緩和の可能性も示唆している。仮に景気後退懸念が強まった場合においても、家計債務比率の低下に触れながらタイの金融市場は安定的であると強調し、今後も金融市場の動きに配慮しつつ政策を策定していくと総括した(図表3)。

足許のTHB相場については、トランプ関税に関する報道に一進一退の動きが続く(図表4)。7月は米国による相互関税発動延期が今後どうなるかが最大の注目点となるだろうが、タイが米国と個別に交渉が合意に達する可能性は限定的と考えている。このため、本件のヘッドラインを巡り引き続き方向感を探る相場は続きそうだ。25年上半期のTHBは総じてドル安に助けられた側面が大きいが、国内要因に目を向けると、先述の景気後退懸念のほか、タイ・カンボジア

国際為替部  
シニアマーケット・エコノミスト  
堀 堯大  
03-3242-7065  
[takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp](mailto:takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp)

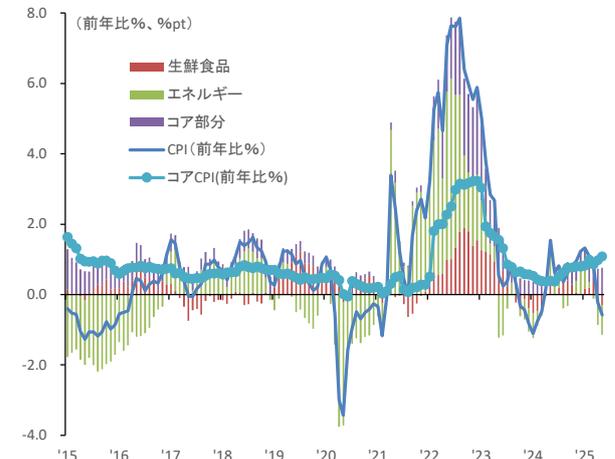
国境間での紛争を機にタイ上院がペートンタン首相の解任を求める請願書を提出する事態に至るなど政情不安も浮上している。個別要因での買い要素に乏しく、足許では中東リスクもあいまって市場心理が悪化しつつある中で、ドルの続落に賭けた THB の続伸は期待しにくくなっている。

図表 1: タイの政策金利とインフレ率



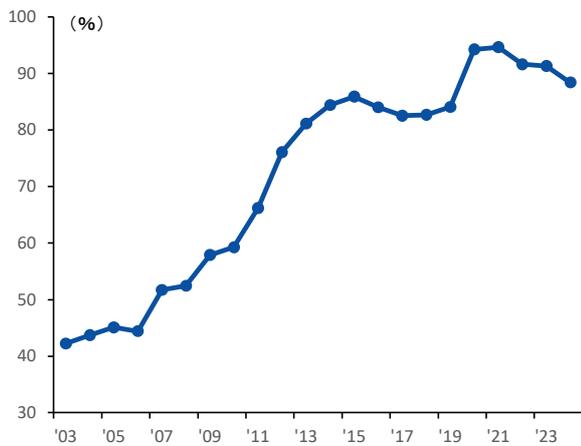
出所: タイ中央銀行、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 2: 消費者物価の推移(前年比%、%ポイント)



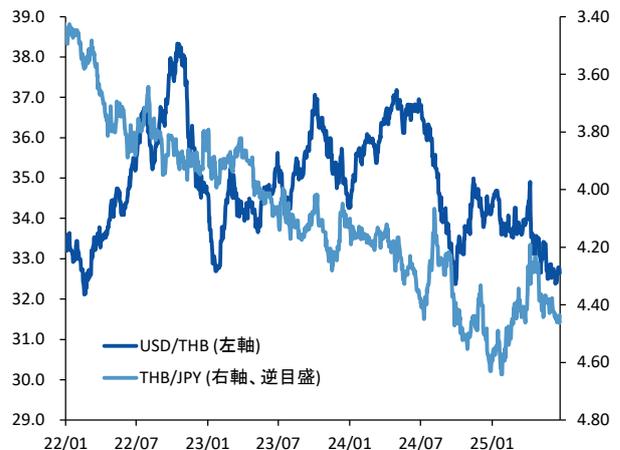
出所: CEIC、みずほ銀行

図表 3: 家計債務比率の推移(対 GDP 比)



出所: CEIC、みずほ銀行

図表 4: THB の動向



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。